No.54-028
2009 年 3 月 6 日

報道関係者各位

元検事総長 松尾邦弘氏監修

裁判員制度をテーマとしたニンテンドーDS 用ソフト「有罪×無罪」を発売

株式会社バンダイナムコゲームス
社　長：石川 祝男
本　社：東京都品川区東品川4-5-15
資 本 金：150億円

株式会社バンダイナムコゲームスは、「裁判員制度」をテーマにしたニンテンドーDS 用推理アドベンチャーゲーム「有罪×無罪」を、制度が施行される 2009 年 5 月 21 日（木）に合わせ発売します。

タイトルロゴ

本作は、プレイヤーが“裁判員”という、これまでにない新たな視点で真相を究明するゲームです。裁判員は弁護士や検事と違い、有罪とも無罪とも取れる事件の真実を見定める必要があるため、プレイヤーにはこれまでの推理ゲームとは違った観点からの推理や洞察力が求められます。

ゲームは、プレイヤーが裁判員に選ばれるところから始まります。
6 人いる裁判員の一人として、架空の裁判を進めるプレイヤーは、審議を進めることにより得られる証拠品や証言、また、被告人への質問や他の裁判員との評議などから有罪とも無罪とも取れる事件のただ一つの真実を探し出し、判決を下します。「有罪」「無罪」の判決はプレイヤーの選択、行動によって変わるので、一つ一つの証拠に対する細かな検証作業や、大胆な推理が真実を見つけ出す鍵となります。

また、元検事総長の松尾邦弘氏を監修に迎えることにより、複雑な人間ドラマと数々の謎が複雑に絡み合う奥深いシナリオへの深みや、法廷での検察と弁護の駆け引きなどに実際の法廷を彷彿とさせる独特の緊迫感と臨場感を生んでいます。

【特　徴】

■**徹底的に臨場感を追求し、描かれた法廷**

元検事総長の松尾邦弘氏監修の下、実際の法廷で起こりうるようなやりとりを徹底的に追求し描き出しました。裁判における独特の臨場感と緊迫感を味わい、謎解きを楽しむことができます。

■**数々の謎が複雑に絡み合う 4 話のシナリオを収録**

プレイヤーが裁判員となって裁判を行うシナリオには、複雑な人間ドラマと数々の謎が複雑に絡み合う、4 種類の事件を収録しました。証拠や証言を精査して真実を見つけ出し、被告人に対する「有罪」「無罪」を下します。

ゲーム画面
（臨場感を醸し出す法廷でのやりとり）

【製品概要】

製品名	有罪×無罪（ゆうざいむざい）	対象年齢	CERO 審査予定 レーティング（審査予定）
発売日	2009 年 5 月 21 日（木）		
ジャンル	推理アドベンチャー		
対応機種	ニンテンドーDS		
価格	メーカー希望小売価格 5,040 円（税込み）		
著作権表記	(C)2009 NBGI		

※プレスリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
※著作権表記中の（C）は、○の中に C の表記をしていただきますようお願い致します。
※NINTENDO DS・ニンテンドーDS は任天堂の登録商標です。

以上